



受賞作品

<p>第42回織田作之助賞 『ソロ・エコー』 島口 大樹 // 著 (F シマ)</p>	<p>失踪した父が残したカメラを手に、僕は横浜の街を歩きはじめる。幕末の遊女の逃亡譚、焼失した二代目横浜駅、戦後の闇市と再開発…。新たな一歩を踏み出す若者の姿を繊細に描く。</p>	<p>第174回芥川龍之介賞 『時の家』 鳥山 まこと // 著 (F トリ)</p>	<p>青年は描く。その家の床を、柱を、天井を、タイルを、壁を、そこに刻まれた記憶を。目を凝らせば無数の細部が浮かび、手をかざせば塗り重ねられた厚みが胸を突く。ある家の記憶を紡いだ小説。</p>
<p>『百日と無限の夜』 谷崎 由依 // 著 (F タニ)</p>	<p>切迫早産で入院中の「わたし」のもとを訪れた一人の女。彼女は能「隅田川」に登場する女物狂이었다。彼女を案内人に、「わたし」と“班女”の時空を超えた道行きは続き…。出産幻想文学。</p>	<p>『叫び』 畠山 丑雄 // 著 (F ハタ)</p>	<p>早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学ぶ。かつてここには、満州に渡って「陛下への花束」を編み、紀元2600年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。恋愛政治小説。</p>
<p>第52回大佛次郎賞 『雪夢往来』 木内 昇 // 著 (F キウ)</p>	<p>ふるさと越後が江戸で知られていないと悟った鈴木牧之。彼の書いた「雪話」は山東京伝の目に留まり、出版へと動き始めるが…。名著「北越雪譜」が世に出るまでの風雪と虚々実々の江戸出版界を描く。</p>	<p>第174回直木三十五賞 『カフェーの帰り道』 嶋津 輝 // 著 (F シマ)</p>	<p>流行りに乗り切れない、長閑な「カフェー西行」で女給たちは朗らかに働いた。時代を映す鏡であった仕事「女給」を通し、大正から昭和を生きた市井の人生を描き出す。</p>
<p>第67回毎日芸術賞 『サイレントシンガー』 小川 洋子 // 著 (F オガ)</p>	<p>沈黙を愛し、10本の指を駆使した指言葉でつましく会話をする人々の暮らす「アカシアの野辺」で育ったりりカ。やがてりりカは歌うことを覚え、その歌声の力が、さまざまな人と引き合わせ…。遙かな時間について綴った物語。</p>	<p>※『時の家』『叫び』は、2月中は円弧1にあります。</p>	



映画化作品

<p>ほどなく、お別れです 出演: 浜辺美波, 目黒蓮 ほか 『ほどなく、お別れです』 シリーズ 長月 天音 // 著 (F ナガ)</p>	<p>大学生の清水美空がアルバイトをしている葬儀場「坂東会館」には、僧侶の里見と組んで、訳ありの葬儀ばかり担当する漆原という男性スタッフがいた。漆原は、美空のある能力に目を付け、自分の担当する葬儀を手伝うよう命じ…。</p>	<p>木挽町のあだ討ち 出演: 柄本佑, 渡辺謙 ほか 『木挽町のあだ討ち』 永井 紗耶子 // 著 (F ナガ)</p>	<p>雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆によるみごとな仇討ちが成し遂げられた。2年後、ある若侍が大事件の顛末を聞きたいと木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される真相は…。</p>
<p>射鵰英雄伝 出演: シャオ・ジャン ほか 『射鵰英雄伝』 シリーズ 金庸 // 著 (923 キ)</p>	<p>雪の一夜が二人の義兄弟の運命を変えた。一人はモンゴルの大草原で戦場の勇者に、もう一人は金国の王室で育てられるが…。宋末元初の激動期を描く大河ロマン。</p>	<p>嵐が丘 出演: マーゴット・ロビー ほか 『嵐が丘』(「ブロンテ全集 7」所収) エミリー・ブロンテ // 著 (933 ブ 7)</p>	<p>ヨークシャーの荒野に建つ屋敷を舞台に、拾われた孤児ヒースクリフと娘キャサリンの激しい愛憎と復讐を描く物語。引き裂かれた2人の運命と、キャサリン亡き後復讐に狂うヒースクリフの執念とは…。</p>
<p>教場 Requiem 出演: 木村拓哉, 綱啓永 ほか 『新・教場』 (F ナガ) 『新・教場 2』 (F ナガ 2) 長岡 弘樹 // 著</p>	<p>風間公親は警察学校第94期初任科短期課程の教官となった。助教の尾風尊彦は、気になる生徒として、人命救助で警察に表彰されたことのある矢代桔平の名を挙げ…。</p> <p>「風間道場」門下生たちが、刑事指導官・風間公親を急襲した十崎波瑠を逮捕。警察学校長の四方田は、門下生たちによる特別講義を提案し…。</p>		

